

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

技術情報第 10 号

果樹カメムシ類の果樹園への飛来について(第 2 報)

本年の新世代成虫の果樹園への飛来については、平成 27 年 7 月 31 日付け技術情報第 9 号でお知らせしているところですが、地域によってはすでに果樹園への飛来が始まっています。果樹園への飛来量は昨年よりやや多いと予想され、今後果実への被害の増加が懸念されますので、園内への飛来状況の把握に努め、適期防除を行うよう指導願います。

1 対象作物：果樹全般（ナシ、カキ、カンキツ等）

2 病虫害名：果樹カメムシ類

3 発生状況

(1) 県内4カ所で離脱、その他の地域でも離脱が近づく

県下13カ所における 8 月 5 半旬のヒノキ球果の口針鞘数は、県平均16.1本/球果（前年24.9本/球果、前々年9.7本/球果）で、前年より少なく前々年より多かった。また口針鞘数には0.5～40.4本/球果と地域によりバラツキがあり、そのうち4カ所ではチャバネアオカメムシがヒノキから離脱する目安とされる25本を超えている（表）。

8 月 5 半旬におけるカキの被害果率は、0.4%（前年2.3%、前々年0.6%）と前年、前々年より少なかったものの果樹園での被害発生を確認した。

(2) ヒノキ樹上で成虫増加の見込み

8 月 5 半旬調査におけるヒノキ球果でのチャバネアオカメムシの寄生成幼虫数は、8.2頭（前年5.5頭、前々年6.8頭）と前年、前々年並であった（表）。

しかし、口針鞘が認められたヒノキ球果の割合は、87.7%（前年99.7%、前々年80.9%）と前年より少なく前々年より多かった。また、上記（1）のとおりヒノキから離脱する目安となる口針鞘数25本/球果に達していない地域が9カ所ある。このため、これらの地域では今後、ヒノキ樹上での成虫の増加が見込まれる（表）。

4 防除上注意すべき事項

(1) 発生は地域差が大きく、同一園内でも被害状況が異なるので、特に飛来が毎年ある園は園内を注意して見回り、飛来を認めたら直ちに防除する。

(2) 果樹カメムシ類は広範囲に移動するため、薬剤散布は広域一斉防除の効果が高い。

(3) 薬剤防除の際は、収穫前日数等農薬使用基準を遵守する。

(4) 降雨があると薬剤の残効が短くなるので、散布間隔に注意する。

(5) 今後の発生状況については、病虫害防除所ホームページ (<http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>) を参照する。

表 ヒノキ球果口針鞘数及びヒノキ球果ビーティングによるカメムシ捕獲虫数

調査時期：2015年8月5半旬

調査場所	口針鞘数調査		ビーティング調査(頭)															3種の合計	
	ヒノキ球果		チャバネアオカメムシ								ツヤアオカメムシ			クサギカメムシ					
	口針鞘が認められた球果の割合(%)	口針鞘数(本)	成虫数	幼虫数					計	幼虫比(%)	成虫数	幼虫数	計	成虫数	幼虫数	計			
				1令	2令	3令	4令	5令											
福岡・飯塚	糸島市高祖	100	35.6	2	0	2	2	1	0	5	7	71	0	1	1	0	0	0	8
	宗像市王丸	55	3.4	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0
	飯塚市入水	30	0.5	1	0	0	1	0	0	1	2	50	0	0	0	0	0	0	2
	平均(3か所)	61.7	13.1	1.0	0.0	0.7	1.0	0.3	0.0	2.0	3.0	60.7	0	0.3	0.3	0	0	0	3.3
久留米	久留米市田主丸町森部	100	29.1	4	1	0	0	1	2	4	8	50	1	1	2	0	0	0	10
	うきは市吉井町福益	100	40.4	0	2	6	11	8	11	38	38	100	2	3	5	0	0	0	43
	うきは市吉井町屋部	100	18.7	4	3	1	1	1	1	7	11	64	1	0	1	0	0	0	12
朝倉	朝倉市柿原	85	4.2	0	0	0	2	0	0	2	2	100	2	0	2	1	1	2	6
	朝倉市志波	100	10.8	3	1	0	1	2	1	5	8	63	1	14	15	0	0	0	23
	朝倉市宮野	100	9.5	0	0	7	0	0	3	10	10	100	1	8	9	0	0	0	19
	平均(3か所)	97.5	18.8	1.8	1.2	2.3	2.5	2.0	3.0	11.0	12.8	79.4	1.3	4.3	5.7	0.2	0.2	0.3	18.8
八女	八女市黒木町本分	100	20.4	5	0	0	0	0	1	1	6	17	2	1	3	0	0	0	9
	八女市立花町飛形山	100	30.2	3	0	0	3	0	1	4	7	57	0	1	1	0	0	0	8
	みやま市山川町立山	100	3.0	1	0	0	0	0	1	1	2	50	0	0	0	0	0	0	2
	平均(3か所)	100	17.8	3.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	2.0	5.0	41.3	0.7	0.7	1.3	0	0	0	6.3
京築	みやこ町犀川木山	70	3.4	3	0	1	0	1	1	3	6	50	0	0	0	0	0	0	6
	京築地区	70.0	3.4	3	0	1	0	1	1	3	6	50.0	0	0	0	0	0	0	6.0
平均(13か所)		87.7	16.1	2.0	0.5	1.3	1.6	1.1	1.7	6.2	8.2	64.3	0.8	2.2	3.0	0.1	0.1	0.2	11.4
H26		99.7	24.9	2.8	0	0.2	0.1	0.6	1.8	2.7	5.5	46.4	1.1	0.5	1.6	0	0	0	7.1
H25		80.9	9.7	3.2	0.2	0.7	1.1	0.6	0.9	3.6	6.8	60.1	0.7	0.4	1.1	0.3	0.1	0.4	8.3
H24		97.5	21.1	3.4	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	1.1	4.6	33.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	4.7

注1) 口針鞘数は20球果を調査し、1球果当たりの平均を記載。
 注2) ビーティング調査は、1地点5枝、1枝当たり5回のたたき落としの結果。
 注3) チャバネアオカメムシの卵から次世代の成虫になるまでの期間は、夏期の気温で約30~40日。